

を振り返る

2004年(平成16年)も様々なニュースが相次いだ1年でした。

イラクでは、自衛隊撤退を求める武装勢力によって日本人民間人が人質になる事件などもありました。また、北朝鮮問題では拉致被害者家族が帰国した一方で、残る安否不明者に関する情報や証拠に疑義が生じるなど、先行きが不透明になっています。

国内では、台風による集中豪雨や地震によって甚大な被害が出て、今なお、不自由な暮らしを強いられた方々が多いです。また、幼児虐待や少年犯罪の凶悪化、「振り込め詐欺」や架空請求詐欺の横行、そのほか鳥インフルエンザやコイヘルペスの流行もありました。

7月の参議院選挙では、民主党が躍進、自民党は、公明党を含めて過半数を維持、政局の2大政党化が進みました。スポーツではアテネ五輪での日本勢のメダルラッシュ、大リーグやNBAでの日本人選手の活躍、ゴルフや卓球で10代プロ選手の活躍が話題になりました。

ここでは、町田市の主なできごとを市政中心に振り返ってみました。



根緑道では満開の桜が咲きました。3日は天気もよく、のべ約4万5000人が見物にぎわいました 6



次のオリンピック開催地の北京市から友好代表団が市を訪れました。オリンピック開催に向け、施設整備やリサイクル機構の構築が課題ということで、下小山田町のリサイクル文化センター1を視察しました 3



本町田の「菅原神社」交差点を起点に薬師台を通り、「真光寺十字路」交差点へ至る町田市計画道路3・4・35号線の芝溝街道を横切る部分が完成し、稲城・調布方面へのアクセスが容易になりました 7



東京都総合防災訓練の一環として、都と連携して行う図上訓練を実施しました。市長以下98人の職員が統制部と演習部に分かれ、次々に情報が入る中、情報収集や応急対処活動など本番さながらの訓練となりました 4



新しい形の成人式「二十祭まちだ」には、町田市出身のサッカー元日本代表選手の北澤豪さんとアナウンサー笠井信輔さんがゲストに。「これが大事」をテーマに対談をしました 1

五輪女子マラソン代表土佐礼子選手が寺田市長を訪問しました。土佐選手は普段は南大谷の所属チームで練習しています。オリンピック持ち前の粘り強さで5位入賞。9月10日にその報道市役所を訪れ、健闘を讃えられました 8



真光寺市営住宅ではユニバーサルデザインによる「すべての人のためのデザイン」の考え方を導入し、市営住宅では初めて集会所棟に屋上緑化がされています 5



(仮称)鶴川子どもセンターは、設計段階から地区の住民や子どもたちが委員会を作って参加し、意見や要望を取り入れて建設されます。子どもセンターばあんに続く2番目の施設です 2

主なできごと

- 1月
 - 12日 新しい形の成人式「二十祭まちだ」開催〓写真1
 - 23日 (仮称)鶴川子どもセンター着工式〓写真2
 - 29日 公的個人認証サービス開始
- 2月
 - 3日 子ども安全緊急アピールを発表、児童・生徒へ防犯ブザーを貸与
 - 5日 北京市友好代表団訪問〓写真3
 - 13日 都総合防災訓練の一環、市で図上訓練行われる〓写真4
 - 20、21日 町田市テクノフェア2004開催
- 3月
 - 3日 保育料問題懇談会が最終報告書を提出
 - 19日 町田市立中学校給食実施計画が答申される
 - 19日 庁舎問題検討委員会最終報告が答申される
 - 22日 中町第三庁舎が完成、都市計画部が移転
 - 29日 市道南565号線開通
 - 30日 町田・相模原業務核都市基本構想同意
 - 31日 廃棄物減量等推進審議会「ごみの有料化」について答申
- 4月
 - 1日 高ヶ坂ふたば保育園、多摩境敬愛保育園、光の原保育園が開園
 - 1日 市役所組織改正
 - 1日 基本構想・基本計画決定
 - 1日 町田市住みよい街づくり条例施行
 - 1日 真光寺市営住宅で入居開始〓写真5
 - 1日 町田市生活安全条例スタート
 - 1日 (財)町田市文化・国際交流財団設立
 - 3、4日 まちださくらまつり開催〓写真6
 - 5日 鞍掛の松公園開園
 - 12日 「常矢橋」が開通
 - 21日 都市計画道路3・4・35号線開通〓写真7
 - 21日 市道鶴川286号線拡幅完了
- 5月
 - 6日 境川水系で死んだコイからコイヘルペスウイルス検出
 - 9日 総合水防演習実施
 - 30日 ボイ捨て防止清掃キャンペーン実施
- 6月
 - 2日 アテネ五輪女子マラソン代表土佐礼子選手、市を訪問〓写真8
 - 24日 防犯パトロール車出動〓写真9
 - 30日 町田リトルリーグ・全日本大会への出場を決め市を訪問